

整理番号	HT26125	分野	医歯薬学	(キーワード)和漢薬
------	---------	----	------	------------

富山大学

【和漢薬ってこんなに身近にあったんだ！ ～杉谷の里山で和漢薬体験～】

先生(代表者)	伏見裕利(ふしみひろとし)民族薬物資料館・特命准教授				
自己紹介	日本の伝統医学である漢方医学では身の回りにある植物、動物、鉱物に由来する生薬を用いています。私は生薬にどのようなものがあるのか研究しています。高価な生薬の中には偽物も存在するため、鑑定できる能力が必要です。伝統医学の知恵や知識の中には、現在でも見直されるべき事柄がたくさんつまっております。そのため日常生活に役立つことも多く、学ぶことの大切さがわかります。				
開催日時・主な募集対象	平成26年8月8日(金)	(対象)	中学・高校生	(人数)	20名
	平成26年8月9日(土)		中学・高校生		20名
集合場所・時間	富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館		(集合時間)	9:30	
開催会場(集合場所)	富山大学杉谷キャンパス 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 住所:〒930-0194 富山市杉谷 2630 アクセスマップ: http://www.u-toyama.ac.jp/access/sugitani/index.html				
内 容					
<p>和漢薬ってどんなもの？お薬といっても、実は普段の食事に入っていたり、近くに生えていたり、意外と身近なところにあります。「こんなものが薬として使われていたなんて！」たくさんの驚きと納得をお土産にしませんか？里山で民間薬を探したり、標本数日本一の民族薬物資料館で、和漢薬に直接触れたり香りを嗅いだり、味わったり……。五感をフルに使って和漢薬について学習しましょう。</p>					
					
スケジュール				持 ち 物	
8日(金)／9日(土)とも同一日程				・筆記用具	
9:30～10:00	受付(民族薬物資料館1F)			・歩きやすい服装	
10:00～10:30	開講式(あいさつ、日程説明、自己紹介、科研費の説明)			(昼食はこちらで用意します。)アレルギーのある方はご自分で昼食の用意をお願いいたします。	
10:30～11:00	①講義「民間薬と世界の民族薬物」				
11:00～11:10	休憩・移動				

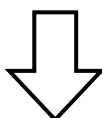
11:10～12:00	②実習「民族薬物資料館 展示室見学」	特記事項 薬膳弁当や薬草ブレンドティーの原材料に、アレルギーを引き起こす食品が含まれる場合があります。受講者には事前にアレルギー調査用紙をお送りしますので、必ず返送してください。
12:00～13:00	昼食休憩(薬膳弁当、生薬入り茶)	
13:00～13:30	③実習「桂枝湯と葛根湯の選別・鑑定」	
13:30～13:40	特別展示室へ移動	
13:40～14:10	④講義「身近な分子のカタチ」	
14:10～14:20	薬草観察会実施場所へ移動	
14:20～15:10	⑤実習「薬草観察会」	
15:10～15:20	休憩・移動	
15:20～15:50	⑥実習「薬草ブレンドティー作り」	
15:50～16:10	クッキータイム (「沈香」「白檀」のお香体験とともに)	
16:10～16:30	学習の振り返り&発表	
16:30～16:50	修了式 (アンケート記入、和漢薬博士号授与、あいさつ)	
16:50	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	富山大学 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 技術補佐員 林 珠央(はやし たまお)
住所：	〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630
TEL 番号：	076-434-7150
FAX 番号：	076-434-7150
E-mail：	museum@inm.u-toyama.ac.jp
申込締切日：	平成 26 年 7 月 22 日(火)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
伏見 裕利	H23-25	基礎研究(C)	23501223	日本民間薬の現地調査と民族薬物データベースの充実



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。